

南部町立学校給食センターボイラー保守管理業務仕様書

1 目的

この仕様書は、南部町立学校給食センターボイラー保守管理業務を委託する場合における、受託者の業務について、その業務内容を定めることを目的とする。

ボイラー及び圧力容器安全規則第 90 条の 2 から 第 95 条までの規定に基づき、ボイラーの本体、燃焼装置、自動制御装置及び付属品の損傷又は異状の有無を点検し整備を行う。その他、指定機器の指定部位の清掃等を実施する。

2 業務の履行義務

受託者は、業務を円滑に遂行するとともに、ボイラー性能が十分に発揮達成できるよう仕様書及び契約書に基づき、業務を履行しなければならない。

3 業務期間

業務の実施期間は、令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日までとする。

4 業務場所

南部町立学校給食センター

5 対象機器

灯油焚小型貫流ボイラー E Q S - 1 5 0 2 K M 2 基

燃料消費量：108.1L/h

伝熱面積：9.96 m²

その他の指定機器（軟水器、脱気タンク、ブースターポンプ、弁、配管等）

6 交換が必要な消耗部品代の取り扱いについて

ノズルチップや火炎検出器、液面ガラス等の交換が必要な部品代については、当保守管理業務によらず、別途請求するものとする。

7 作業内容及び方法

①小型貫流ボイラー 2 基の通常点検、総合点検を行う。(各年 1 回)

(総合点検時においては、通常点検の内容に加え、指定消耗部品交換、缶体清掃も行う)

②脱気タンク及び各部のストレーナー(5 箇所)の清掃を年 6 回行う。

③ボイラー缶体の水質検査を年 1 2 回行う。(1 回/月)

④対象機器の内、小型貫流ボイラーは、当施設ボイラー管理者の対応を超えるトラブル対応は原則、請負者側が費用負担を行う。

ただし、5 に定めるその他の指定機器は対象外とする。

⑤適切な使用、管理下において発生したボイラー部品の不具合、ボイラー管理者の対応の範疇を超えるトラブルには無償にて対応を行う。

(天災、地変、誤操作、その他の不可抗力等による不具合は免責とする)

8 通常点検、総合点検、各種保守点検整備等完了後、個々に提出するものとする。

9 対価の支払い

業務履行月の末締め、翌月請求とし、請求書受理後 30 日以内に支払とする。

10 その他

業務期間の始期に属する令和 8 年度予算の議決を条件として契約が成立するものとする。